

科学展推進委員会

委員長 堀内 一彦

一 研究テーマ

児童生徒の科学研究に対する関心を高め、創意に満ち、工夫と努力に富んだ研究態度を養うための科学展の運営はどうあったらよいか。

二 研究の概要

- 1 科学作品展（児童生徒科学作品展、優秀作品巡回展）の効果的な運営。
- 2 創意工夫が見られ、活用される科学作品研究録作り（3年計画の1年目）

三 研究事項

- 1 更埴児童生徒科学作品展の開催に関わる業務推進と運営。
(出品作品の展示と審査、及び巡回展の準備と実施)
- 2 科学作品研究録第30集発行に関わる業務推進。
(研究収録作品の原稿依頼、校正、発行は2020年度)

四 運営の経過

- 1 更埴児童生徒科学作品展準備
 - (1) 期日 8月31日(金) 朝9時～
 - (2) 会場 五加小学校体育館
 - (3) 展示および審査
 - (4) 審査結果をもとに県展に出品
- 2 更埴児童生徒科学作品展について
 - (1) 期日 9月1日(土)午前9時～午後4時 9月2日(日)午前9時～正午まで
 - (2) 会場 五加小学校体育館
 - (3) 出品数 小学校…70点 中学校… 点4 74点
 - (4) 長野県学生科学賞作品展（県展）出品作品と結果

会場 長野上田市文化センター

学年	作 品 名	名 前	学 校 名	賞
小5	星の光でできる影を見る研究	柳沢 由紀	戸倉小学校	優良賞
小6	植物の再生② 発根と成長の方向を決めるもの	三井飛裕人	南条小学校	優良賞
小6	タニシのお母さんになろう	関 真渚人	屋代小学校	入選

3 科学作品巡回展について

本年度は10月9日～12月21日まで、戸倉上山田坂城地区と更埴地区の2地区に分けて巡回した。

4 科学作品研究録第30集発行に向けての取り組み

3年に1度の作品集。第30集は2020年度に発行予定。本年度は原稿依頼、回収、校正、保管を行った。本年度の原稿は、2019年度科学展推進委員会委員長に年度当初に引き継ぐ。

五 まとめ

- 1 科学作品展の前日に2名の補充員の先生にお手伝いいただき、展示や審査等会場準備を行った。また、戸倉上山田中学校科学研究部の生徒に、受付や会場の作品の監視を手伝っていただき、大変ありがたかった。
- 2 科学展当日には大勢の方（合計334名）にお越しいただき、作品を見ていただくことができた。保護者、地域の方の関心の高さを実感した。会場の作品管理当番（委員）もやりがいを感じながら活動することができた。
- 3 作品募集については小学校の場合、各学年1点の計6点だが、優秀作品がある場合には6点を超えても良いことを明記し、良い作品は数多く出品できるようにした。また、中学生の作品が増えるように各校で工夫していただけるとありがたい。
- 4 県展出品作品は小学校連学年より1点を原則とするが、よりよい作品を県へ送るために、連学年割にとらわれ過ぎずに計3点を出展していきたい。
- 5 県展の作品規格の併せて作品を制作していく必要がある。
- 6 科学作品展への出品、巡回展の掲示、研究収録原稿の準備などご協力ありがとうございました。
- 6 賞状を業者に委託して作成している。賞状用紙と賞状データ（メールにて）を各校へ配布し、必要数印刷配布する方向がよい。
- 7 科学作品展の会場を4校に絞るのではなく、広げていく方向が考えられる。

平成30年度 委員会の構成

世話係	山根 義夫（戸倉上山田中学校長）
委員長	堀内 一彦（埴生小） 副委員長 久保 文晴（治田小）
委員	飯嶋 啓志（南条小） 原田 俊恵（戸倉小） 袖山 茂（五加小）
	石田 啓介（更埴西中）